

2003 年度 委員会活動成果報告

(2003 年 3 月 31 日作成)

委員会名	比較居住文化小委員会	主 査 名 : 乾 尚彦
所属本委員会 (所属運営委員会)	計画委員会	委員長名 : 服部 岑生
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	1 海外の居住文化を扱った研究事例の整理と集積 2 研究者相互の研究交流の場の確保、海外の研究者とのネットワークづくり (フォーラム開催とインターネット、メーリングリスト) 3 フィールドワークを設計、教育に生かす方法についての検討 4 住まいの原型をさぐり、地域に根ざしたデザインの本質を考察する 5 フィールドワークの方法・技術についての情報の集積、フィールドワーク をおこなうためのマニュアルの作成	
委員構成 (委員名 (所属))	井上えり子 (京都女子大学)・浅川滋男 (鳥取環境大学)・乾尚彦 (学習院女子大学)・ 岡田知子 (西日本工業大学)・菊地成朋 (九州大学)・熊谷広子 (宮城高専)・佐藤浩司 (国立民族学博物館)・月館敏栄 (八戸工業大学)・畑聡一 (芝浦工業大学)・藤井明 (東京大学)・本間博文 (放送大学)・永瀬克巳 (法政大学)・八木幸二 (東京工業大 学)・山本直彦 (立命館大学)	
設置 WG (WG 名 : 目的)	なし。	
2003 年度予算	298,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	委員会は、メーリングリスト (独自および日本建築学会) による。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 本委員会の目的のためには、資料の蓄積、学术交流を継続的にこなう必要がある が、そのためには、ポータルサイトとなるような参加型のホームページを持つことが好ま しい (研究成果の公開とは異なる)。今期は、PHP とデータベース (SQL) によるホームペ ージを作成し、小委員会活動のための基盤づくりをした。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 研究の交流、情報交換、ネットワークづくりには、直接討論の出来る場として、フォーラ ムを開催することが必須であるが、今期は、それをおこなえなかった。
その他評価すべき 事項	特になし。